

平成18年6月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年5月12日

上場会社名 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社（コード番号： 7707 大証 ヘラクレス市場）
 （URL <http://www.pss.co.jp/>）
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 田島 秀二（TEL 047-303-4800）
 責任者役職・氏名 取締役業務本部長 秋本 淳

1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成18年6月期第3四半期の財務・業績概況（平成17年7月1日～平成18年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年6月期第3四半期	2,538	19.6	46	-	45	-	322	-
17年6月期第3四半期	2,123	44.1	79	-	81	-	95	-
(参考)17年6月期	3,215	28.3	132	-	111	-	64	-

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
18年6月期第3四半期	7,675	02	-	-
17年6月期第3四半期	2,292	97	-	-
(参考)17年6月期	1,552	25	1,502	22

(注) 持分法投資損益 18年6月期第3四半期 - 百万円 17年6月期第3四半期 - 百万円 17年6月期 - 百万円
 期中平均株式数 18年6月期第3四半期 42,038株 17年6月期第3四半期 41,468株 17年6月期 41,468株
 会計処理の方法の変更 無

売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

18年6月期第3四半期及び17年6月期第3四半期の営業利益等の対前年同四半期比増減率につきましては、営業利益等がマイナス値であるため記載しておりません。

18年6月期第3四半期及び17年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、新株予約権残高等がありますが、当期純損失が発生しているため記載しておりません。

18年6月期第3四半期及び17年6月期第3四半期に係る数値につきましては、監査法人の監査を受けておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

	平成17年6月期 第3四半期 (前年同四半期)		平成18年6月期 第3四半期 (当四半期)		対前年 同期比 増減率	参考 平成17年6月期 (通期)	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比
売上高	百万円 2,123	% 100.0	百万円 2,538	% 100.0	% 19.6	百万円 3,215	% 100.0
売上総利益	896	42.2	1,026	40.4	14.5	1,509	46.9
営業利益	79	3.7	46	1.8	-	132	4.1
経常利益	81	3.8	45	1.8	-	111	3.5
当期純利益	95	4.5	322	12.7	-	64	2.0

当第3四半期は、主力OEM先であるロシグループ向けのDNA自動抽出装置や株三菱化学ヤトロン向けの小型免疫化学発光測定装置等が好調に推移したこと、また、ドイツ子会社で製造販売しているOEM先向けのプラスチック消耗品も順調に売上拡大したことなどから、売上高2,538百万円(前年同期比19.6%増)と大幅な増収を確保いたしました。これに伴い、売上総利益も1,026百万円(前年同期比14.5%増)と大幅な増益を確保することができました。

一方で、海外子会社の人員増加や設備拡充に伴う諸経費の増加などにより、販売費及び一般管理費は1,073百万円(前年同期比10.0%増)となりました。そのため、営業損失46百万円の計上となりましたが、前年同期比では32百万円の赤字幅圧縮となっております。また、費用負担が懸念される開発費は290百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

営業外損益では、受取利息や為替差益などの営業外収益 26 百万円に対し、支払利息や社債発行費などの営業外費用 25 百万円となり、経常損失 45 百万円の計上となりました。前年同期比では 36 百万円の赤字幅圧縮となっております。

また、当連結会計年度からの減損会計適用により、特別損失 237 百万円を計上しております。減損処理の対象は、平成 2 年 8 月に取得した松戸市に所在する旧研究所及び付随する設備などであります。平成 13 年 3 月までは研究所として利用していましたが、本社移転に伴い閉鎖したため遊休資産となっております。平成 17 年 10 月には、同施設の売却を実施し、固定資産売却益として 3 百万円を計上しております。したがって、今後、同資産に関連する減損処理は発生いたしません。その他、法人税等充当額 43 百万円を計上したことから、当期純損失 322 百万円(前年同期比 227 百万円増)となりました。

取引先別の販売状況は、下表のとおりであります。

	平成 17 年 6 月期 第 3 四半期 (前年同四半期)		平成 18 年 6 月期 第 3 四半期 (当四半期)		対前年 同期比 増減率	参考 平成 17 年 6 月期 (通期)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
ロシュグループ	837	39.4	1,306	51.5	56.1	1,456	45.3
キアゲングループ	787	37.1	678	26.7	13.8	1,069	33.2
(株)三菱化学ヤトロン	141	6.7	352	13.9	148.0	218	6.8
その他	357	16.8	201	7.9	43.6	471	14.7
合計	2,123	100.0	2,538	100.0	19.6	3,215	100.0

当社グループの主力製品であります DNA 自動抽出装置等(免疫化学発光測定装置を含む)は、OEM(相手先ブランドによる販売)を通じてワールドワイドに販売されております。OEM先としては、ロシュグループ、キアゲングループ、(株)三菱化学ヤトロンの 3 社を主力 OEM 先と位置付けております。装置の使用に伴い消費される専用のプラスチック消耗品に関しても、OEM 先を通じて販売されております。

ロシュグループに関しては、DNA 自動抽出装置、プラスチック消耗品ともに、前年同期を大きく上回る好調な販売実績となり、売上高 1,306 百万円(前年同期比 56.1%増)を確保いたしました。

キアゲングループに関しては、当第 3 四半期で売上高 678 百万円(前年同期比 13.8%減)となりました。同社グループ向け販売は、前連結会計年度において 111.7%増(前々連結会計年度比)という大幅な増収を達成しております。当連結会計期間に関しても、装置及び消耗品ともに順調な出荷を続けておりますが、通期では、前年同期を若干下回る見通しとなりました。

(株)三菱化学ヤトロンに関しては、昨年 4 月より本格的に販売開始された小型免疫化学発光測定装置に関して、当連結会計期間は、売上高が 1 年を通じて寄与してまいりますので、前年同期を大きく上回る販売実績となり、売上高 352 百万円(前年同期比 148.0%増)を確保いたしました。

その他取引先に関しては、前年同期には、韓国企業に対する「タンパク質自動合成装置」にかかるアジア圏(除く日本)での独占販売権の対価として 100 百万円の収入がありましたが、当第 3 四半期は、そういった収入がなかったこと、また、独立行政法人の大学や研究機関などの特注システム(その他理化学機器)の販売が減少したことなどから、売上高 201 百万円(前年同期比 43.6%減)となりました。

製品区分別の販売状況は、下表のとおりであります。

	平成 17 年 6 月期 第 3 四半期 (前年同四半期)		平成 18 年 6 月期 第 3 四半期 (当四半期)		対前年 同期比 増減率	参考 平成 17 年 6 月期 (通期)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
DNA 自動抽出装置等	1,309	61.7	1,588	62.6	21.3	1,928	60.0
その他理化学機器	75	3.6	38	1.5	48.6	81	2.5
その他製品	155	7.3	206	8.2	33.3	221	6.9
商品(プラスチック消耗品)	482	22.7	704	27.7	45.8	679	21.1
その他営業収入	100	4.7	-	-	-	304	9.5
合計	2,123	100.0	2,538	100.0	19.6	3,215	100.0

DNA 自動抽出装置等

当区分は、当社グループの国際特許技術であるマグトレーション・テクノロジーを利用した自動化装置の区分であり、DNA 自動抽出装置の他、免疫化学発光測定装置も含んでおります。DNA 自動抽出装置等に関しては、バイオ研究分野の進展に伴い、多検体の短時間処理が必要となってくるため、その需要は拡大していくものと当社では考えております。

当第 3 四半期は、中間連結会計期間に引続きロシュグループ及び(株)三菱化学ヤトロン向けの OEM 製品が好調に推移したことから、823 台の販売実績で売上高 1,588 百万円(前年同期比 21.3%増)となりました。

四半期毎の販売実績は下表のとおりであります。装置単価は機種により 1 百万円台から 10 百万円以上までの品揃えがあるため、変動しているものであります。昨年度より、コンパクトタイプの DNA 自動抽出装置や小型免疫化学発光測定装置などの低価格製品の比率が高まってきていることから、単価は安くなる傾向があります。

	平成 16 年 6 月期		平成 17 年 6 月期 (前連結会計年度)				平成 18 年 6 月期 (当連結会計年度)		
	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期
販売台数 (台)	161	297	150	232	232	287	189	359	275
販売金額 (千円)	373,304	870,924	323,644	466,443	519,854	618,781	376,358	653,827	558,781
販売単価 (千円)	2,318	2,932	2,157	2,010	2,240	2,156	1,991	1,821	2,031

その他理化学機器

当区分は、研究施設などで利用される各種自動化機器の他、各省庁やその外郭団体などからの受託研究開発事業の区分であります。

当第 3 四半期は、売上高 38 百万円 (前年同期比 48.6% 減) となりました。当区分の売上高は、特注システムの受注動向により大きく変動いたします。当第 4 四半期には、タンパク質解析の前処理システムや検体受付用の仕分け分注機などの特注システムの売上を予定しており、通期では前年実績を上回るものと考えております。

その他製品

当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ (交換部品) 販売、自社販売の DNA 自動抽出装置等に使用される核酸抽出・精製用のプレバック試薬、ソフトウェア開発などの区分であります。

当第 3 四半期は、売上高 206 百万円 (前年同期比 33.3% 増) となりました。装置メンテナンスやスペアパーツ販売などは、装置の累計出荷台数に応じて販売拡大が見込める性質があるため、当区分の売上高は、順調な伸長が期待できるものと考えております。

商品 (プラスチック消耗品)

当区分は、装置の使用に伴い消費されるチップやカートリッジなどのプラスチック消耗品の区分であります。当社の DNA 自動抽出装置等に使用される専用の消耗品が中心となっております。

当第 3 四半期は、売上高 704 百万円 (前年同期比 45.8% 増) となりました。特に、ドイツ子会社にて販売している欧州 OEM 先向けの消耗品が好調に推移いたしました。プラスチック消耗品は、装置の累計出荷台数に応じて販売拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

その他営業収入

前年同期は、既述の独占販売権の付与契約にかかる収入がありましたが、当第 3 四半期は、そういった収入がありませんでした。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年6月期第3四半期	4,888	2,860	58.5	66,844 98
17年6月期第3四半期	4,653	2,953	63.5	71,221 37
(参考)17年6月期	4,636	3,107	67.0	74,948 14

(注) 期末発行済株式数 18年6月期第3四半期 42,800株 17年6月期第3四半期 41,468株 17年6月期 41,468株

【財政状態 (連結) の変動状況に関する定性的情報等】

当第 3 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 252 百万円の増加で 4,888 百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が 222 百万円の増加、受取手形及び売掛金が 177 百万円の増加、たな卸資産が 147 百万円の増加となり、全体では 555 百万円の増加で 3,973 百万円となりました。固定資産は、減損会計の適用や減価償却などにより、全体では 303 百万円の減少で 915 百万円となりました。

流動負債は、買掛金が 145 百万円増加しましたが、短期借入金 が 100 百万円減少するなど、全体では 62 百万円の増加で 969 百万円となりました。固定負債は、銀行引受による私募債 350 百万円の発行や長期借入金 が 86 百万円増加するなど、全体では 436 百万円の増加で 1,057 百万円となりました。

資本は、当期純損失の発生から利益剰余金が 322 百万円減少しましたが、ストックオプションの行使により資本金及び資本剰余金が 32 百万円の増加、為替換算調整勘定が 41 百万円の増加など、全体では 246 百万円の減少で 2,860 百万円となりました。株主資本比率は 58.5% となっており、前連結会計年度末の 67.0% からは低下いたしました。特段問題ない水準であります。

3 平成18年6月期の連結業績予想(平成17年7月1日～平成18年6月30日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	3,550	30	270	6,308 41

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【業績予想に関する定性的情報等】

当3四半期末時点でのDNA自動抽出装置等の受注残高は604百万円(前年同期比2.9%増)となっており、今後3～4ヶ月内には出荷していく予定です。また、その他理化学機器の区分にて、タンパク質解析の前処理システムや検体受付用の仕分け分注機などの特注システムの販売により、150～175百万円程度の売上を予定しております。これにプラスチック消耗品やスペアパーツ・メンテナンスなどの販売で300百万円程度を勘案し、第4四半期での順調な売上計上が見込まれます。

当第3四半期の実績と期初計画を比較した場合、販売先別での好不調はあるものの、全体の売上高としては予想の範囲内にて推移しております。当連結会計期間の四半期毎の業績推移及び見込みは、下表のとおりです。第4四半期の見込みに関して、売上総利益は、最近のユーロ高円安傾向から、第3四半期を上回る利益率確保は可能と考えております。また、開発費に関しても大きな支出予定はなく、第2四半期並みの費用に抑えることが可能と考えております。その他販売費及び一般管理費などの経費面も予想の範囲内にて進捗しておりますので、上記のとおり、平成17年8月12日の決算発表時に公表した通期業績予想に変更はありません。

	第1四半期 (実績)	第2四半期 (実績)	第3四半期 (実績)	第4四半期 (見込)	通期合計 (見込)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売 上 高	653	990	895	1,011	3,550
売 上 総 利 益 (利益率%)	268 (41.2%)	385 (38.9%)	372 (41.6%)	433 (42.8%)	1,460 (41.1%)
開 発 費	101	84	103	80	370
そ の 他 経 費	236	273	273	276	1,060
販 売 管 理 費 計	338	357	377	356	1,430
営 業 利 益	69	28	5	76	30
経 常 利 益	73	30	2	75	30
当 期 純 利 益	314	12	20	52	270

以 上

第3 四半期連結財務諸表

(1) 第3 四半期連結貸借対照表

区分	前第3 四半期末 (平成17年3月31日)		当第3 四半期末 (平成18年3月31日)		前連結会計年度末 (平成17年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
(資産の部)						
流動資産						
1 現金及び預金	2,201,062		2,235,361		2,012,719	
2 受取手形及び売掛金	537,851		875,357		698,218	
3 たな卸資産	796,208		755,650		608,364	
4 その他	76,463		107,017		98,817	
5 貸倒引当金	430		339		354	
流動資産合計	3,611,155	77.6	3,973,047	81.3	3,417,767	73.7
固定資産						
1 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	272,955		316,165		335,039	
(2) 機械装置及び運搬具	141,405		87,919		137,198	
(3) 工具器具及び備品	141,554		166,719		239,377	
(4) 土地	431,250		294,097		450,622	
有形固定資産合計	987,166		864,901		1,162,237	
2 無形固定資産	33,083		26,234		31,789	
3 投資その他の資産	21,658		24,148		24,264	
固定資産合計	1,041,907	22.4	915,284	18.7	1,218,292	26.3
資産合計	4,653,062	100.0	4,888,331	100.0	4,636,059	100.0

区分	前第3四半期末 (平成17年3月31日)		当第3四半期末 (平成18年3月31日)		前連結会計年度末 (平成17年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
(負債の部)						
流動負債						
1 買掛金	411,935		462,926		317,362	
2 短期借入金	100,000		-		100,000	
3 一年内返済予定の長期借入金	391,608		315,452		323,688	
4 賞与引当金	17,061		18,341		9,124	
5 その他	99,768		172,773		156,715	
流動負債合計	1,020,373	21.9	969,494	19.8	906,890	19.6
固定負債						
1 社債	-		350,000		-	
2 長期借入金	678,939		705,066		619,034	
3 その他	342		2,806		2,184	
固定負債合計	679,281	14.6	1,057,872	21.7	621,219	13.4
負債合計	1,699,654	36.5	2,027,366	41.5	1,528,109	33.0
(資本の部)						
資本金	2,024,978	43.5	2,041,278	41.8	2,024,978	43.7
資本剰余金	2,491,267	53.6	2,507,844	51.3	2,491,267	53.7
利益剰余金	1,573,659	33.8	1,736,848	35.5	1,414,205	30.5
その他有価証券評価差額金	504	0.0	1,633	0.0	686	0.0
為替換算調整勘定	10,316	0.2	47,057	0.9	5,222	0.1
資本合計	2,953,407	63.5	2,860,965	58.5	3,107,949	67.0
負債・資本合計	4,653,062	100.0	4,888,331	100.0	4,636,059	100.0

(2)第3四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期 (自平成16年7月1日 至平成17年3月31日)			当第3四半期 (自平成17年7月1日 至平成18年3月31日)			前連結会計年度 (自平成16年7月1日 至平成17年6月30日)		
	金額(千円)		百分比(%)	金額(千円)		百分比(%)	金額(千円)		百分比(%)
売上高		2,123,385	100.0		2,538,717	100.0		3,215,600	100.0
売上原価		1,226,892	57.8		1,511,913	59.6		1,706,305	53.1
売上総利益		896,492	42.2		1,026,803	40.4		1,509,295	46.9
販売費及び一般管理費		975,499	45.9		1,073,470	42.3		1,376,429	42.8
営業利益及び営業損失()		79,006	3.7		46,667	1.8		132,865	4.1
営業外収益									
1 受取利息	2,383			6,830			4,178		
2 受取配当金	17			10			25		
3 為替差益	11,286			15,695			-		
4 雑収入	4,142	17,830	0.8	4,003	26,540	1.0	5,186	9,390	0.3
営業外費用									
1 支払利息	19,823			15,890			26,247		
2 社債利息	-			2,136			-		
3 為替差損	-			-			4,036		
4 新株発行費	-			603			-		
5 社債発行費	-			6,450			-		
6 その他	262	20,085	0.9	24	25,105	1.0	335	30,619	0.9
経常利益及び経常損失()		81,262	3.8		45,231	1.8		111,636	3.5
特別利益									
1 固定資産売却益	966	966	0.0	3,966	3,966	0.2	966	966	0.0
特別損失									
1 固定資産売却損	115			-			115		
2 固定資産除却損	363			85			1,776		
3 投資有価証券評価損	12,508			-			12,668		
4 減損損失	-	12,986	0.6	237,503	237,588	9.4	-	14,560	0.5
税引前第3四半期純損失 ()又は税引前当期純利益		93,282	4.4		278,854	11.0		98,043	3.0
法人税、住民税及び事業税		1,802	0.1		43,787	1.7		33,674	1.0
第3四半期純損失()又は 当期純利益		95,084	4.5		322,642	12.7		64,368	2.0